

第131回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

日時：平成24年10月5日(金) 13:30～16:30

場所：産総研つくば東事業所本館第1会議室

出席者：委員長 北野（JR東海）

副委員長 水野（信州大）

委員 上田（東芝）、浮田（鉄道総研、長谷川委員代理）、古関（東京大）、
小林（三菱電機）、坂本（鉄道総研、大橋委員代理）、白石（安川電機）、
増澤（茨城大）、森下（工学院大）、矢野（産総研）、吉桑（三菱電機）、
脇若（信州大）

幹事 村井（JR東海）

幹事補佐 和多田（東京都市大）、矢島（SMC）（記）

オブザーバー 本田（首都大学東京）、楡井（長野高専）

提出資料

- 131-1 第130回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（矢島幹事補佐）
- 131-2 リニアドライブ技術委員会 名簿（矢島幹事補佐）
- 131-3 平成24年度 リニアドライブ技術委員会 活動報告（北野委員長）
- 131-4 平成25年度（H25年4月～H26年3月） 活動計画（1次案）（北野委員長）
- 131-5 リニアドライブ技術関連カレンダー（矢島幹事補佐）
- 131-6 リニアドライブ技術 調査専門委員会・共同研究委員会 変遷（矢島幹事補佐）
- 131-7 リニアドライブ技術委員会 関連シンポジウム（矢島幹事補佐）
- 131-8 MAG・LD 合同研究会（案）（水野副委員長）
- 131-9 リニアドライブ研究会（和多田幹事補佐）
- 131-10 電気学会 リニアドライブ研究会のご案内（矢島幹事補佐）
- 131-11 LDIA2013（北野委員長）
- 131-12 2012年8月電気学会産業応用部門大会シンポジウム実施報告（小林委員）
- 131-13 電気学会技術報告第1259号 産業用リニアドライブ技術と応用の変遷（小林委員）
- 131-14 委員会構成員変更届（北野委員長）
- 131-15 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会（MDD）活動報告（上田委員）
- 131-16 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会（MEL）活動報告（小林委員）
- 131-17 第3回 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会 議事録（上田委員）
- 131-18 第3回 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会 議事録（小林委員）
- 131-19 第2回 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会 議事録（上田委員）
- 131-20 第5回 環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会 議事録（坂本代理）

議事

1. 議事録確認

資料131-1を基に、矢島幹事補佐から第130回委員会の議事録が確認され、承認された。

2. 報告事項

- 2.1 資料131-3を基に、北野委員長からH24年度の活動報告があった。LD研の発表件数が年内で100件以上となった。また、技術報告「産業用リニアドライブ技術と応用の変遷」が発行された。
- 2.2 資料131-5を基に、北野委員長からリニアドライブ関連の共有カレンダーについて説明がされた。研究会・委員会の日付が決まったら、各自共有カレンダーに入力する。
- 2.3 資料131-6を基に、北野委員長から本技術委員会参加の調査専門委員会および共同研究委員会の変遷に関する資料が説明された。本資料は共有データベースにアップ済。これからも各種資料をアップする予定。
- 2.4 資料131-9を基に、和多田幹事補佐から、11月に開催されるLD研について案内があった。東京都市大学で開催し、17件の発表を行う。
- 2.5 資料131-10を基に、矢島幹事補佐から、2013年2月に開催されるリニアドライブ研究会について案内があった。電気学会のホームページなどでは、LD研究会について外部に説明した資料が少なく、参考に本案内を共有データベースにアップすることとなった。

- 2.6 資料 131-11 を基に、北野委員長から、2013 年 7 月に Hangzhou で開催される LDIA2013 について案内があった。
- 2.7 資料 131-12 を基に、小林委員から、8 月に産業応用部門大会で行ったシンポジウムについて実施報告があった。40 人の参加があった。
- 2.8 資料 131-13 を基に、小林委員から、8 月に技術報告「産業用リニアドライブ技術と応用の変遷」が出版されたことが説明された。また、今後開催される研究会・フォーラムで本書の案内を配布して欲しいと依頼があった。
- 2.9 資料 131-14 を基に、北野委員長から MEL 委、MLV 委の委員追加が説明された。MEL 委に、乾先生（日大）も委員追加されている。以上、北野委員長の承認済み。

3. 審議事項

- 3.1 資料 131-2 を基に、MD 技術委員会との連携担当が水野副委員長から鳥居幹事に交代したことが確認された。名簿に担当を記載する。
- 3.2 資料 131-4 を基に、北野委員長から次年度の活動計画が提案された。
 - ・医用と解析の調査専門委員会を立ち上げる
 - ・6月のLD研をMAGと共催する（資料131-8）
 - ・産業応用部門大会（8月）にMLVからシンポジウムを提案する。
- 3.3 資料 131-7 を基に、北野委員長からシンポジウムの提案計画が説明された。各調査専門委員会がローテーションで担当することが確認され、H25年産業応用部門大会（8月）はMLVが担当、H26年全国大会はMELが担当することが決定した。
- 3.4 LD 技術委員会の共有データベースについて、アドレスが分からない、長いなどの意見があった。定期的にアドレスをメール配信することやリンクを記したpdfファイルを配布することが提案された。
- 3.5 MDD 委で行っている遠隔参加について説明があった。双方向通信などで困難な点があり、下記の要望があった。
 - ・通信費を電気学会で負担できるようにすると良い
 - ・支部などから双方向通信できるシステムがあると良い

4. 各調査専門委員会活動報告

資料 131-15～資料 131-20 を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

5. 見学会

産総研において、見学会が行われた。球面モータや微細加工機、エアロゾルデポジション法（AD法）を応用したメタルベース高速光走査素子などを見学した。

以上



図1 産総研つくば東事業所にて（平成24年10月5日）